

事業番号	06 06 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	廃棄物監視指導事業費	部局	環境部	課・室	資源循環推進課				
		実施期間	S46 ～	E-mail	junkan @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・県内の廃棄物不法投棄の発見状況については、中期的には減少傾向にあるものの、近年は年間2,300件前後で推移している。

・うち産業廃棄物の大規模不法投棄は近年発見されていないものの、排出事業者や処理業者等による不適正処理も依然として散見されている。

・こうした不法投棄または不適正処理事案は、生活環境に甚大な悪影響を及ぼす危険性を常にはらんでいる。そのため、事案対応にあたっては、廃棄物処理法等の厳格な運用を基本とした未然防止・早期発見・早期是正を可能とする体制と施策を整えておかねばならない。

2 事業目的

市町村等と連携した不法投棄の未然防止・早期発見、並びに廃棄物処理法等に基づく排出事業者及び処理業者に対する監視指導を通じ、もって生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① 廃棄物の不適正処理防止対策

- ・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係事業者等への立入検査、夜間監視、産業廃棄物収集運搬車両点検等を実施
- ・不法投棄に関する通報を24時間受け付ける「不法投棄ホットライン」を設置
- ・廃棄物処分場等における水質検査の実施

② 不法投棄監視連絡員の配置

- ・住民との連携により不法投棄等の未然防止または早期発見を図るため、県下に100名の不法投棄監視連絡員を配置

③ 市町村職員の県職員への併任

- ・市町村との連携・情報交換を密にして対応を図るため、市町村職員に産業廃棄物処理業者等への立入検査権を付与



産業廃棄物収集運搬車両点検（R7風景）

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
①	立入検査数	件	6,665	6,052	↘	5,575	↘	6,140	未達成 事案に応じて、廃棄物の処理状況の確認または法違反の事実解明を目的とする立入検査を行う（体制に変更がないため、前年度活動量を維持）
②	監視連絡員によるパトロール	時間	12,366	12,485	↗	12,108	↘	12,000	達成 不法投棄の未然防止・早期発見を図るため、一定量の巡視を行う（10h/月×12月×100名）
③	指標なし								

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値	年／ 年度	数値
1-1③	良好な生活環境保全の推進										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	66,644	0	66,644	34,094	61,957	19.0
R6年度	0	57,402	0	57,402	30,502	54,209	19.0
R5年度	0	51,529	0	51,529	25,335	46,285	19.0

事業番号	06 06 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課			

7 主な取組実績と成果

①廃棄物の不適正処理防止対策 ・産業廃棄物関係事業者等への立入検査を5,575件実施し、廃棄物の適正処理を指導した。 ・不法投棄防止夜間監視を36回、ドローンを活用した上空からの監視を29回（16箇所）、産業廃棄物収集運搬車両点検を8箇所を実施し、不法投棄の未然防止のための啓発や指導を行った。 ・不法投棄ホットラインを設置し、県民から56件の通報を受け付け、早期の現場対応につなげた。 ・廃棄物処分場等の周辺環境調査のため、水質検査を21施設（67検体）実施し、検査結果に基づく指導を行った。 ②不法投棄監視連絡員の配置 ・県下に96名の不法投棄監視連絡員を配置し、住民との連携による広範囲できめ細やかな情報収集を行い、不法投棄の早期発見・早期対応を実施することができた。 ③市町村職員の県職員への併任 ・県内56市町村職員182名に県職員の併任発令を行い、産業廃棄物処理業者等への立入検査権を付与することで、不適正事案に対する指導について市町村と県との連携・情報交換を密にして対応した。
--

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	立入検査数	R6年度推移	↘	R7年度推移	↘	達成状況	未達成
担当職員が全開庁日に立入検査を行う積算で目標値とした中、事案に応じて必要な立入検査を実施した結果、件数はR7年度目標を下回った。							
指標②	監視連絡員によるパトロール	R6年度推移	↗	R7年度推移	↘	達成状況	達成
監視連絡員の積極的な活動により、成果目標を達成することができた。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題
引き続き立入検査等を効果的かつ適切に行い、不適正処理や不法投棄の防止に取り組む必要がある。
(2) 事業改善の方策
新たに通報アプリの導入による不法投棄に関する情報収集体制の充実を図り、立入検査数の増加と不法投棄の減少につなげる。

事業番号	06 06 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	廃棄物監視指導事業費		部局	環境部	課・室	資源循環推進課

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	廃棄物監視指導事業費		46,285 千円	54,209 千円	61,957 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	廃棄物指導員の配置	直接	廃棄物の監視業務を効率的に執行するため、佐久、上伊那、松本、長野地域振興局に廃棄物指導員（警察OB等）を配置 廃棄物指導員8名、立入件数5,575件		
2	不法投棄監視連絡員の配置	直接	住民との連携により不法投棄等の未然防止または早期発見を図るため、全県下に不法投棄監視連絡員を配置 不法投棄監視連絡員96名、パトロール12,108時間		
3	廃棄物不適正処理防止対策	直接 委託	・廃棄物の適正処理の確認・指導のため、産業廃棄物関係業者等への立入検査、夜間監視、ドローンによる上空監視を実施 ・不法投棄に関する通報を24時間受け付ける不法投棄ホットラインを設置 ・廃棄物処理施設等の放流水等について行政検査を実施 立入件数5,575件、夜間監視36回、ドローンによる監視29回		